



社会

あすなる保育園が文科大臣奨励賞...第45回世界児童画展

掲載日：2015/03/10

◇のびのび作品が評価

◇石本大雅君に美育文化協会賞

社会福祉法人あすなる会（竹内一夫理事長）の運営するあすなる保育園（出雲市白枝町）の園児が描いた絵が、第45回世界児童画展で文部科学大臣奨励賞と美育文化協会賞を受賞した。作品は、園での活動などをテーマに園児が感じたことがのびのび、いきいきと描かれている。



世界児童画展は、子どもが創り出す造形文化の推進支援や、国際相互理解を目的に、美育文化協会が主催している。大阪の万国博覧会を機に始まった。募集対象は保育園から中学校、特別支援学校、海外日本人学校の3歳から15歳まで。今回は国内外から1902団体、6万8737点の応募があった。

同園は3歳から5歳までの園児が描いた50作品を出展。同園が応募者から15点が選ばれる文部科学大臣奨励賞を受賞し、同園の石本大雅君（5）が、10点が選ばれる美育文化協会賞を受賞。ほか5人の園児が入選した。

園児が描いたのは、同園の運動会やお泊り保育など特別な行事の様子や、散歩で拾った松ぼっくりなど、日常の幸せを描いたもの。石本君は、自然栽培体験として同園が行っている菜園で収穫されたナスと、ピーマンを描いた。

<写真：文部科学大臣奨励賞を受賞した園児の作品＝9日、あすなる保育園>